

2021年度 サポートシステムあゆみ 放課後等デイサービス自己評価表

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制について	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数が多く狭く感じる時もあるが、時間差でプログラムを行ったり活動部屋を分けたりして工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用児童の状況に応じて人数を増やす等、ケースバイケースで対応している。
	3	事業所の設備等の安全について常に配慮しているか	○			一度支援中の職員が扉に指を挟んだ事があり、それ以降は設備環境の改善と安全点検をより強化して行っている。
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		日常的な課題に対して検討・改善を行っているが、効果のチェックをできていない事もある。振り返りまでしっかり行うように取り組みを計画していく。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者により外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	法人で検討中。
	8	職員の資質の向上の為に、研修の機会を確保しているか	○			年間で研修受講を計画する他、外部研修の機会があれば随時職員に周知している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの状況を把握する為に、アセスメントツールを使用しているか		○		新たなアセスメントツール作成を検討しているが、まだ実行にはいたっていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			曜日担当チームで立案し、他のスタッフとも相談して行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節や児童の状態に合わせて色々なプログラムを考えている。
	13	平時・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
適切な 支援の 提供	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	○			全員で打ち合わせができない日もあるが、書面と個別の口頭伝達で確認できるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			曜日担当職員を中心に振り返りを行い、日誌に書いて共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			コロナ禍で会議の開催が殆どなかった。相談支援員に児童の状況等を書面で送付し参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		積極的には情報提供していない。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			作業療法士に訪問してもらい、助言を頂いた。
	25	地域の人たちや、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍で控えている。
	26	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	○			奈良市障がい児通所支援連絡協議会に参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通の理解を持っているか	○			
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	必要に応じて相談・助言を行う。	

	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点	
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	30	保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナウイルスの感染状況が収まれば交流会を実施したい。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	34	個人情報の取り扱いに際し、守秘義務を遵守しているか	○			
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍で行っていない。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		防災と防犯マニュアルに関してはまだ不十分。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	39	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修に参加。内部集団研修は行っていないが個別に振り返る機会を設けた。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			